

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅱ-1（JapaneseⅡ-1） 2011021-020					担当教員	村越 真紀 （ムラコシ マキ）		
科目区分	教養科目 （留学生 科目）	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験（JLPT）N2 または N1 に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情 1、日本事情 2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2 を履修しておくことが望ましい。									
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの語彙や文法の問題が、授業でやった範囲内であれば 90% 以上得点できた。 (ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。 (iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、適切な構成で、ネイティブチェックが無くても、おおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。									
⑥ テキスト（教科書）									
伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク ABK 財団法人 アジア学生文化協会（2014 年）『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』アスク（中国語版、ベトナム語版、英語版があるので、各自自分が使いやすいものを購入すること。）									
⑦ 参考図書・指定図書									

友松悦子他（2010年）『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク
 佐々木瑞枝他（2006年）『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times
 二通信子、佐藤不二子（2020年）『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク
 日本語能力試験問題研究会（2011年）『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会
 田代ひとみ他（2011年）『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N2 レベルの語彙や文法の問題で 80%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、90%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、75～89%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、60～74%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、60%以上得点できなかった。
(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 600～800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかった。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。	45%	10%				5%		60%

(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。					15%	5%		20%
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。			15%			5%		20%
フィードバックの方法	スピーチ原稿は添削して返します。小テストは採点して返します。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、自己紹介、授業の注意点の説明、 語彙テキスト第2部、第1章、第3課、 資料を利用してレポートを書く1	自己紹介の準備をしておく。 前年度使用したテキストを使い、授業内容を予習しておくこと。分からない単語は調べておくこと。	60分
2	語彙テキスト第1章、第3課、 資料を利用してレポートを書く2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
3	語彙テキスト第2章、第1課 文法テキスト1 スタッフ募集のお知らせ	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
4	語彙テキスト第2章、第1課 文法テキスト2 転任のあいさつ(1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
5	語彙テキスト第2章、第2課 文法テキスト2 転任のあいさつ(2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
6	語彙テキスト第2章、第2課 文法テキスト3 ホテルの仕事 ミニスピーチ1	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
7	語彙テキスト第3章、 文法テキスト3 ホテルの仕事	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
8	語彙テキスト第3章、 文法テキスト4 台風情報	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
9	語彙テキスト第4章、第1課 文法テキスト4 台風情報	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテ	90分

		ーマでミニスピーチを準備しておく。	
10	語彙テキスト第4章、第1課 ミニスピーチ2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
11	語彙テキスト第4章、第2課 文法テキスト5 就職活動(1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
12	語彙テキスト第4章、第2課 文法テキスト5 就職活動(2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
13	語彙テキスト第4章、第3課 文法テキスト6 苦労した5年間(1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
14	語彙テキスト第4章、第3課 文法テキスト6 苦労した5年間(2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
15	スピーチ	指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性